

卒業おめでとう。大学生活のほとんどをコロナ禍という逆境の中で過ごされ、多くの困難を乗り越えて今日の日を迎えられる皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。また大変なご苦労の中、この4年間を支えてくださったご家族の皆様にも深く感謝いたします。

これからが これまでを決める



学長
成田 健一

氾濫しています。このような情報社会の中で、若い世代は、政治や社会に関心になるか、強烈にわかりやすい主張に身を委ねるかの両極端に走る傾向が強まっているように感じます。

人は、難しい事態に直面したとき、何かしらその状況を説明できる簡単な

今、世界はさまざまな要因で対立・分断が深まり、この先の社会のあり様は、不確実性、不透明感が増すばかりです。甚にはフェイクニュースや真偽の判別がつかない強い主張が渦巻き、我々を振り回しています。この時代はかつてないほど多様な価値観や情報が

答えに飛びつきたくなります。しかし、今必要なのは、簡単な答えを見つけることではなく、辛抱強く考え続ける力、ひたすら考え続ける不安定な状態に耐える力、ネガティブ・ケイパビリティです。

さらに、これからは皆さん自身が情

報化されるという社会に益々なっていきます。スマートフォンで多様なアプリを使い、ネット広告にさらされ続ける私たちは、既にデータ化され管理されています。一旦蓄積されたデータは自分では消せないため、我々は過去のデータに益々拘束されることになっていきます。既にローンの与信審査や服役者の仮釈放の判断にAI（人工知能）が導入され、「これまでがこれからを決める」という社会に向かいつつあります。しかし大学は、人は誰でも、いつからでも変われる、そう信じて教育を行っています。4年間で大きく成長してくれた皆さんの姿こそが、その何よりの証です。失敗も含め、過去はそれをどう生かすかという、これからの生き方次第で意味がまったく変わります。「これからが、これまでを決める」それを心の糧として、これからも挑戦し続けてくれることを願っています。